



11 住み続けられる
まちづくりを



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



電気自動車とエネルギー の発電方法

～進化し続ける
自動車と発電～

1. テーマを選んだ理由

マインドマップを見ていく中で、電気自動車という項目に興味を持ち、それに関連する地球温暖化対策の一つである発電という項目にも興味を持ったから。

2. 現状について

現在は昔に比べて電気自動車の種類も増えていて、復旧もしてきている。今では新たに水素自動車も開発されてきている。

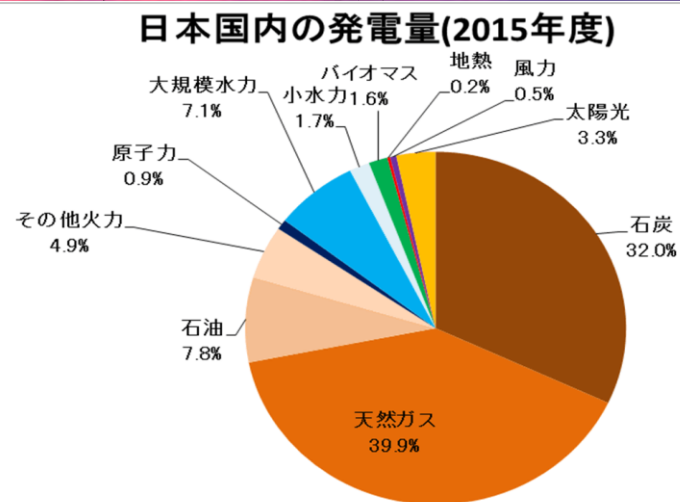
発電方法に関しては既存の火力発電、水力発電、風力発電、原子力発電、太陽光発電、地熱発電などがある。

現在の主力発電は、環境に害のある火力が一般的である。

3. 現在問題視されていること

更に普及が進んできていることもあり現在休日には急速充電待ちが発生している。これからさらに普及が進んだ場合この充電待ち問題が悪化する可能性がある。必要な電気量が一般家庭の二～三日分のため家庭での充電は現在厳しい状況になっている。

発電に関しても火力、原子力は発電時の有害物質が地球温暖化の原因になっていたり、水力、風力、太陽光は自然の力を利用するため、安定した電力供給は見込めない。地熱に関しても日本で唯一安定的に電力供給ができていますが供給量が少なく場所を選ぶため、世界のどこでも発電できるわけではない。



4. 解決するためには

電気がすぐになくなってしまい長距離走行ができないことが問題ならエネルギータンクのようなものを搭載して、供給量が足りないなら一度の走行に必要なエネルギー消費量を減らすための開発を進めるなどをすればいい。

現在一番注目されている発電方法は「バイオマス発電」だ。その理由は発電原理が火力発電に似ているからだ。主な違いは発電に使う燃料とCO₂排出量だ。メリットとしては、人間に害のある物質のため燃料にしても問題がないこと、デメリットとしては必要されていないとはいえタダで渡せるわけがなく引き取るためにコストがかかってしまうことだ。

10代からの提言

大企業にはこれからの社会に必要なものだけでなく今の生活、これからの未来のためになる発明をしてもらいたい。

自分たちだけでできることはほとんどないけどこれからの社会を生きる皆となら少しでも変えていけると思う。

6. 考察・感想

自分の意見をここまで明確に表したのは初めてだったけど発表するための調べ学習をするのがとても楽しかったし、これからのことを考えるいいきっかけになった。

今まで漠然と考えていたことが今回の調べ学習を通して明確になったことでどんなことをしたほうがいいかなどを考えることができるようになった。

一人でできることの小ささ、少なさにも気づけた。